

大栄くろぼく会館竣工記念式典

本日、ここに放課後児童クラブの拠点となる施設、大栄くろぼく会館の竣工記念式典を挙行するにあたり、来賓として県選出の国会議員の秘書のみなさま、東伯郡選出の鳥取県議会議員のみなさま、北栄町議会議員のみなさま、教育委員、小学校校長、関係の自治会長、クラブの統括責任者、そして設計や工事を担っていただいた事業所の代表のみなさまにおいていただき、開催できること大変うれしく思います。また、完成にあたりましては、周辺住民のみなさま、小学校・中学校の先生方、保護者のみなさまにご理解とご協力をいただいたことも改めて、感謝を申し上げます。

これまでの大栄こども学級は、小学校からおよそ 500m 離れたところにある中央公民館大栄分館にあり、施設の老朽化や、交通や天候にも気を付けて通級することになり、安全面でも不安があったところです。また、以前、この地には”勤労者体育センター”が建設され、免振を考慮したつくりで床が微妙に揺れることもあり、初めての方は酔ったように感じる施設でした。スポーツ大会や近年では、選挙の投票所として活用されていましたが、老朽と度重なる災害等により、建物の多くの箇所で不具合が生じていました。極めつけは、令和 3 年 7 月豪雨により、法面が崩壊し、建物にも影響が出たことで、法面の災害復旧後に撤去し、その跡地にこの施設を建設する方針といたしました。そして、旧大栄こども学級をここで実施することができれば、先ほどの課題点は解消されることになり、安心して学べる事になると思い、実施することとしました。

た。

私は、子ども達には、安心して、思う存分遊んで・学んで、友達と交流し、放課後の有意義な時間を過ごしてほしいと思っています。そして将来、北栄町を担う立派な大人に育ってほしいと思っています。同時に、ご家族のみなさんも安心して、仕事などに集中できるものと思います。

この「大栄くろぼく会館」という名称も、子どもたちの投票で決定したものの、農業の盛んなまちとしても大きな役割を担っている、肥沃なくろぼくの大地をイメージし、たくましく育ってほしいという思いがあります。

なお、この施設は、放課後児童クラブとして活用が主となります。コンセプトにありますように子どもから大人まで多目的に利用でき、災害時には避難所としても活用していただいたらと思っています。

終わりに、この施設で子ども達が安心して学び、すくすくとたくましく育ってくれることを願い、竣工記念式典にあたってのごあいさつといたします。

令和8年1月5日

北栄町長 手嶋俊樹